

お知らせ



国土を整え、全力で備える

国土交通省

中国地方整備局 温井ダム管理所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau



記者発表資料
配付日

令和 7 年 3 月 19 日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

大迫力の放流を間近で体感！ ～大人気！ 中位標高放流設備からの放流～

温井ダムでは、洪水から流域の皆さんの暮らしを守るために、梅雨時期までにダムの管理水位をあらかじめ下げておき、その空き容量を利用して洪水調節を行っています。

令和7年度も下流広場を開放して、中位標高放流設備からの放流を行います。

〔放流設備〕 中位標高放流設備

〔放流日〕 令和7年4月14日（月）

令和7年4月18日（金）～4月20日（日）

令和7年4月25日（金）～4月27日（日）

令和7年5月9日（金）～5月11日（日）

〔放流時間〕 各日2回（11:00～11:15、14:00～14:15）

※4月14日（月）のみ14時（14:00～14:15）と

15時（15:00～15:15）の放流を行います。

- 放流計画の詳細は、別紙「2025年 温井ダム水位低下放流」のとおりです。
- 堤体エレベーターは混雑が予想されますので、余裕をもってご来場ください。
- 下流広場では水しぶきが舞い上がりますので、雨具の持参をお勧めします。
- 気象や河川、ダムの水量の状況により、急遽な放流の中止や放流スケジュールの変更をする場合があります。その場合は、HP・X(旧 Twitter)でお知らせします。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 温井ダム管理所

TEL : 0826-22-1501（代表）

HP : <https://www.cgr.mlit.go.jp/nukui/index.htm>

管理所長 藤原 寛（内線201）

【担当】専門官 前川 和広（内線330）



Xはこちら

大迫力
の放流

2025年 温井ダム水位低下放流



国土交通省 温井ダム管理所

2025年 水位低下放流カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
4月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14 ①14:00 ②15:00	15	16	17	18 ①11:00 ②14:00	19 ①11:00 ②14:00
	20 ①11:00 ②14:00	21	22	23	24	25 ①11:00 ②14:00	26 ①11:00 ②14:00
	27 ①11:00 ②14:00	28	29	30	1	2	3
5月	4	5	6	7	8	9 ①11:00 ②14:00	10 ①11:00 ②14:00
	11 ①11:00 ②14:00	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

- ・カレンダーの日付の下に書いてある時刻は、放流開始予定時刻です。
- ・1日に2回中位標高放流設備から放流を行います。
- ・1回の放流時間は、約15分間です。
- ・放流日は管理所側のしわい階段を開放します。

「しわい階段」とは...

温井ダム下流面の堤頂から底部に続く、管理用の階段(高低差が約100m)の愛称で、普段一般の方は立ち入ることができません。

「しわい」は「しんどい」「つらい」という意味の方言。

※ 駐車場、エレベーターが混雑することが予想されますので、余裕をもってお越し下さい。

※ 下流広場では水しぶきが舞い上がります。雨具のご持参をお勧めします。

※ 気象や河川・ダムの水量の状況等により、急遽放流の中止やスケジュールの変更をする場合があります。



※ 放流した水は、いったん副ダムに溜めるので、下流河川が急に増水することはありません。

地下エレベーター
高低差: 約120m

見学トンネル
長さ: 約200m

※しわい階段
高低差: 約100m

下流広場

※副ダム

左のカレンダーに示す放流スケジュールに変更がある場合は、温井ダムホームページ と SNS X (旧Twitter) でお知らせします。



温井ダムホームページ



X (旧Twitter)

<注意>

放流開始は11時と14時ですが、4/14(月)は14時と15時。

温井ダム水位低下放流の目的



国土を整え、全力で備える

国土交通省

中国地方整備局 温井ダム管理所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

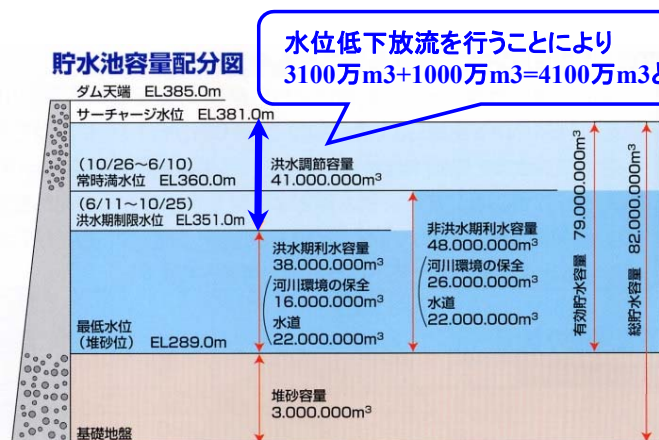


洪水に備えるための放流です！

水位低下放流とは、梅雨前線、局地的大雨及び台風等による洪水の恐れが多い時期(洪水期)に備えて、あらかじめダムの水位を下げて洪水を貯めるための容量を確保することが目的の放流です。温井ダムでは、この放流によって、管理する水位の高さを約9m下げること、1000万m³ほど洪水を貯めるための容量を増やすことができ、全体で4100万m³を洪水調節のための容量として活用します。

温井ダム容量配分図

- 非洪水期 10/26～6/10 (常時満水位 EL. 360.0m)
- 洪水期 6/11～10/25 (洪水期制限水位 EL. 351.0m)



水位低下放流を行うことにより
3100万m³+1000万m³=4100万m³となります。

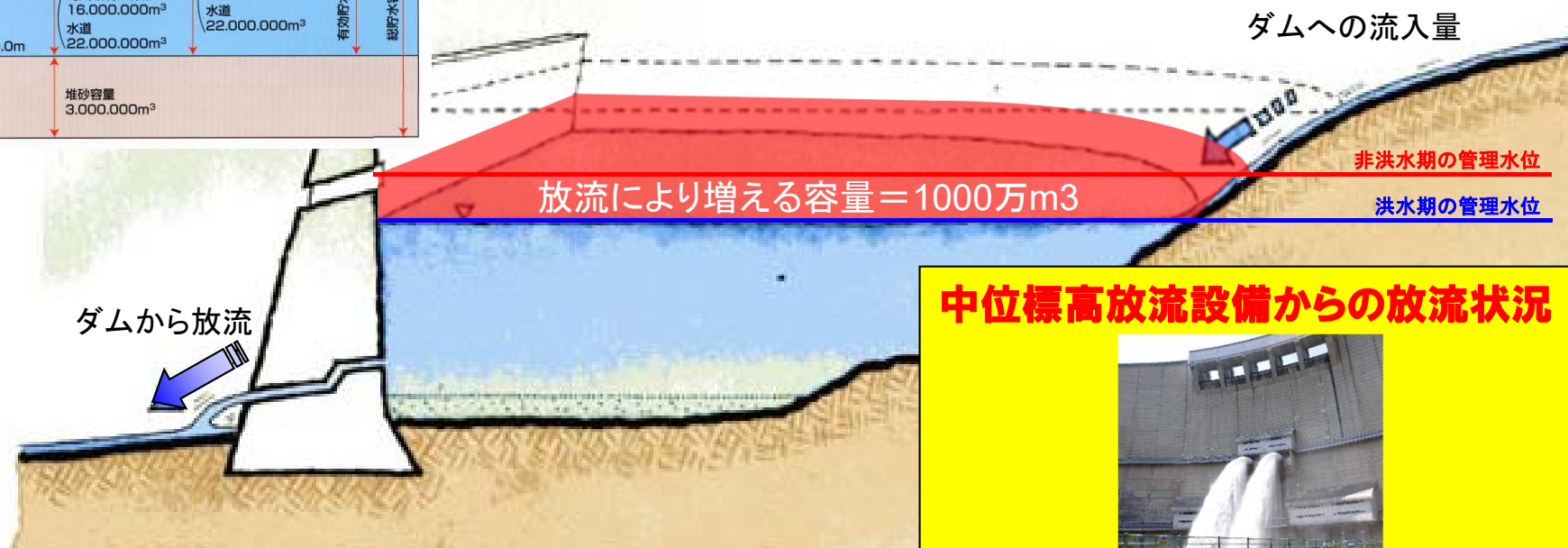


水位を低下する前のダム湖の水位



水位を低下した後のダム湖の水位

洪水に備えて洪水調節容量を確保するために管理水位を下げておきます。



落差約60m！